

第2回審議会意見等

No.	委員名	質問・意見・提案の要約	市の回答	対応状況
1	古賀委員	関係人口というテーマはそれぞれの施策の活動に関連性がある。空家の活用が産業や観光の各分野にも関連するなど、関係人口に繋がるような取組ができるのではないか。	各施策が深く絡み合っており、関係人口に関する取組は米子市全体の魅力を高めていくものである。また、政策関連携は地方創生の大きなテーマである。	策定作業の中で検討
2	岡村委員	重点施策に取り組む中で、何を成し遂げたいのか、目標設定はあるのか。どのような米子市にしたいのか。	究極には、市民の幸せをとことん追求していくこと。今後施策をカテゴリーライズして、それぞれの目標設定が必要だと考える。	今後の審議会の中で示していく
3	吉岡委員	若者が大学進学を機に市外に出た後も、まちづくりにかかわってもらうことが有用。市外からの住民参加についても研究して欲しい。	まちづくりに関わる人が増えることは、米子の活力につながる重要な視点であると考えます。	「シティプロモーションと関係人口の拡大」の中で記載
		漢字の熟語の多用がありがち。「いつまでも外に出かけたい」など思いをそのまま施策にするなど、平易な表現とするべき。	検討する。	策定作業の中で検討
		まちづくりがまずあり、次に地方創生。地方創生に合わないところがあれば、国に求めるべき。無理にリンクさせる必要はない。	地方創生として国の目指すものはあるが、地域の特性に応じた地方創生を行うよう求めており、無理にリンクさせる必要はない。	済
4	佐貫委員	都市基盤分野「持続可能な地域公共交通体系の確立」と「総合的な交通基盤の整備」の違いは何か。	前者は公共交通にかかるもの。後者は新幹線、空港、高規格道路等のインフラ整備を総括したもの。	済
5	渡部委員	にぎわい創出の分野について、米子駅周辺は居酒屋等があり、娯楽等を楽しんでいると思うが、一般の方や子どもが多く出かけていくような場所には見えない。	米子駅周辺エリアは宿泊施設や飲食施設の充実のほか、コンベンションセンターや文化ホールなどの住民が集まる場所もある。再度全庁的に米子駅周辺で家族に楽しんでもらう機能について検討したい。	策定作業の中で検討
6	伊坂委員	施策が複数の分野にまたがっているものが多く、特に観光は農林水産、スポーツ、歴史文化など多くの分野にまたがる。複数の分野にまたがる施策に取り組める市にして欲しい。担当する部署を明記して欲しい。	市の考えとして、部局横断的に検討しなければ解決しないものがあると考えており、部局横断的な取組は総合政策部が所管し、関係部署と調整して動くこととなる。	今後の審議会の中で示していく
7	吉川委員	事業所数の減少の原因を分析しないで地方創生の議論をするのはいかがなものか。	全体としては事業所数は少しずつ減少している一方、従業者数は増加傾向。平成28年度のみ極端に増加している点は次回会議までに分析する。	次回審議会ですす
8	徳田オブザーバー	部局横断の施策に取り組むプロジェクトと、進捗状況について示して欲しい。	次回の会議に向けて準備する。	次回審議会ですす

No.	委員名	質問・意見・提案の要約	市の回答	対応状況
8	徳田オブザーバー	「ふるさと教育の推進による郷土愛の醸成⇒Uターン促進」も重点的に取り組む施策に含めて欲しい。また、住民参画も強調して欲しい。		策定作業の中で検討
		総合計画のまとめ方の方向性の一つとして、弓浜半島全体にスポットを当ててはどうか。(観光、耕作放棄地、高規格道路等が関連する)		策定作業の中で検討
9	高野委員	「持続可能な公共交通体系の確立」について、住民が利用しやすい・住民に利用される公共交通の確立が必要。持続可能と表現すると先細り感がある。記載の仕方、内容の検討が必要ではないか。	記載の仕方は考えていきたい。また、公共交通ビジョンの内容を反映し、前向きな取組であることを示したい。	策定作業の中で検討
10	赤澤委員	先日LINE@を利用したUターン促進の取組の状況はどうか。	米子市は各種SNSにアカウントを持っており、アカウントに応じた情報発信を行っている。	済
11	齊木委員	子育て分野について、保育士や指導員などの確保や雇用の安定にも目を向けて欲しい。担い手の離職などの問題が隠れてしまいがち。	サービスを拡大すると担い手不足の問題が出てくる。総合計画に盛り込む工夫を考えてみたい。	策定作業の中で検討
12	澤田委員	商工業者、特に中小事業者が人口減少社会で生き残っていくためには、環境を活かし、計画を持って事業を行っていくことを重視している。行政頼みではなく、事業所主体となってやっていくべきで、そのための環境整備や基盤づくりが大事。	中小企業の振興について、環境の整備は行政の責任でやっていく。商工セクション以外では、広域的な交通基盤の整備が大きい。	策定作業の中で検討
13	森本委員	米子市の中小事業所数の減少率は全国より小さく、既存事業所が生き延びている。新規創業ばかりではなく、既存の企業の維持も重要。		策定作業の中で検討
14	中村委員	年をとって車の免許を返上するとどう行動すればよいのか。不便なエリアでも小さく回るようなものがあると良い。	都市計画マスタープランでは、コンパクト&ネットワーク、JR境線を活用したまちづくりを示しているが、車に頼らないなどの取組を進めていきたい。	今後の協議
15	堀尾委員	「総合的な」とか「都市基盤」という表現は分かりにくい。具体的な取組・担当部局・プロジェクトチームなど肉が見えると骨格も見えやすい。	予定されている取組等、次回会議に向けて準備する。	次回審議会です